

平成24年度

私費外国人留学生募集要項

〔昼間主コース〕

横浜国立大学経営学部

添 付 用 紙 (綴込み)

この要項には、次の本学所定の用紙が綴込みで添付されています。

- ① 入学願書・受験票・写真票
- ② 志望理由書
- ③ 入学検定料の払込取扱票（青色）
- ④ 振替払込受付証明書（お客さま用）貼付用紙
- ⑤ 返信用封筒：長3（本人宛）
- ⑥ 住所氏名記入用紙

☆ 私費外国人留学生（昼間主コース）問い合わせ先

社会科学系学務第二係（経営学部担当）

TEL 045-339-3664（月～金 9:00～12:45、13:45～17:00）

☆ 奨学金、入学料等免除関係及び学生寮についての問い合わせ先

○ 入学料等免除関係 学務部学生支援課経済支援係

TEL 045-339-3113・3115（月～金 9:00～12:45、13:45～17:00）

○ 奨学金関係 学務部学生支援課経済支援係

TEL 045-339-3131（月～金 9:00～12:45、13:45～17:00）

○ 学生寮等住居関係 学務部学生支援課学生支援係

TEL 045-339-3134・3184（月～金 9:00～12:45、13:45～17:00）

※合格発表日以前に申請書受付を行うものがあるので、希望者は早めに問い合わせてください。

目 次

◎経営学部案内	2
1. 概 要	2
2. 学科案内	2
◎入学者受入方針・教育目標	4
◎平成 24 年度私費外国人留学生募集要項	6
1. 募集人員	6
2. 出願要件	6
3. 出願期間	6
4. 入学検定料払込期間	7
5. 出願手続	7
6. 選抜方法	9
7. 合格者の発表及び通知	9
8. 入学手続	9
9. 障害等のある入学志願者の事前相談について	10
10. 私費外国人留学生入試出願者への注意事項	11
11. 個人情報の取り扱いについて	12

経営学部案内

(昼間主コース)

1. 概要

本学部は、国立大学法人では2校にしかない経営学部であり、きわめて現代的な視点から研究・教育を行っています。1967年に国際都市、横浜に設置され、現在にいたるまで多くの研究成果と卒業生を輩出しています。時代の潮流に対応した先進の研究体制と、日本だけでなく世界で活躍できる有能な人材育成のための教育体制が、本学部の大きな特徴です。

本学部は、経営学科、会計・情報学科、経営システム科学科、国際経営学科から構成され、全学科に昼間主コースが設置されると同時に、経営学科には夜間主コースが設置されています。また、大学院博士課程前期・後期、ビジネススクールが併設されていますので、卒業後により高度の専門教育を受けることもできます。本学部学生の就職状況はきわめて恵まれています。卒業生は民間企業、官庁、大学院等に進み、広く社会に貢献しています。

経営学部の特徴として、自分が履修する科目の選択に際しては、学科の枠にとらわれず、他学科の科目も自由にとることができることがあげられます。自分の興味あるテーマを中心に幅広く学習できる環境にあるのです。

なお、国際交流にも積極的に取り組んでおり、毎年10名程度の交換留学生を派遣しています。

2. 学科案内

(1) 経営学科

経営学は、産業社会の成立とともに生成し、20世紀に急速な成長を遂げた学問であり、企業を主たる対象としています。グローバル化・情報化・地球環境問題といった現代的課題に対処していくためには、企業経営とは何かといった本質的な理解とともに、さらに企業経営の望ましい方向を提示していくことも求められています。本学科では、こうした状況をふまえ、企業戦略、経営組織、人的資源管理、人間行動、企業と環境、コミュニケーションを重視した新しい形の経営学を構想しています。

経営学科では、企業行動の基本的な仕組みを学ぶ理論的な科目から、最新の具体的・学際的な企業経営の諸問題を取り上げる実践的な科目まで、多様な内容の授業科目を用意しています。学生は自分の関心や問題意識に合わせて、主体的にカリキュラムを構成できるようになっています。

(2) 会計・情報学科

会計・情報学科の専門領域である会計学は、世界経済の発展とともに進化してきました。今日、企業活動のグローバル化、情報通信技術の進展、地球環境問題の深刻化、そして政府・自治体の財政状況の悪化等、経済社会は変貌し課題も山積しています。こうした変化や諸問題に対応すべく、企業、政府・自治体および非営利組織等の経済主体では、適切かつ迅速に意思決定をしていくことを迫られています。そうした経済主体の意思決定を支援するために活用され、経済社会において「ビジネスの言語」として重要な役割を担っているのが会計情報です。

会計・情報学科では、会計学の基礎的な科目、激変する経済社会に対応した応用科目、そして、会計プロフェSSIONALを目指す講義に至るまで、幅広くかつ体系的な教育メニューを用意し、会計情報の作成、利用およびその組織体への影響を理解できる会計のスペシャリストの育成を目標としています。

(3) 経営システム科学科

経営システム科学科は経済学、統計学、数学などの計量的アプローチに拠りながら、現代の企業を取り巻く資源配分問題（ヒト、モノ、カネ、情報の配分）を科学的に解明することを企図した学科です。経営学が社会科学たる所以は、主観的な議論を排して数量に裏付けられた客観的議論を指向し、可能な限り科学的な成果を提示しようとする姿勢に求められます。このような姿勢は、欧米の経営大学院（ビジネススクール）の教育、研究姿勢と軌を一にするものであり、その意味で経営システム科学科での研究、教育は国際標準（グローバルスタンダード）の下での思考、研究スタイルを追求しているともいえます。具体的にはファイナンス、マーケティング、生産管理、経営情報などの分野の授業が開講され、またそのような研究を裏切るものにするべく、数学、統計学、オペレーションズ・リサーチ、情報処理など計量的方法論の分野の授業も開かれています。

(4) 国際経営学科

今日、企業の海外事業展開が進む中で、企業経営は、世界的視野の下で進めなければならなくなっています。それは、国内中心の企業経営の時代では見られなかった新しい問題領域を提起しています。この新しい問題領域の形成は、国際的に対応できる企業スタッフの要請はもちろん、より広い意味で国際社会に対する理解や問題意識の高揚、あるいは行動力の向上を広く日本人に要請しています。

国際経営学科では、こうした要請に応えるため、以下のような教育体系を有しています。第1は、国際経営に関する基本的知識および国際経営を構成する機能別領域に関する専門的知識の修得です。第2は、経営諸制度やビジネス行動、企業を取り巻く制度環境の特性比較研究です。第3に、異文化間のコミュニケーション、そのための社会・文化的背景についての知識や技能の修得です。これらを通じて、国際的に活躍できる人材の育成を目指しています。

入学者受入方針・教育目標

横浜国立大学入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

——横浜国立大学では、社会に貢献できる意欲的な学生を求めます——

- **真の実力を得たい！**
社会においてリーダー的存在になる真の実力を得たい人
- **洞察力を磨きたい！**
科学的探究心を尊重し、チャレンジ精神に基づく研究・創造の場を通して、深い知識と洞察力を獲得したい人
- **世界の舞台で活躍したい！**
国際性溢れる環境の中で、外国人学生と共にコミュニケーション能力を高め、世界に発信・飛躍したい人
- **高度な専門知識で社会に貢献したい！**
大学院に進学し、さらに高度な専門的知識を身につけ、専門的な職種や職業で社会に貢献したい人

自然に恵まれた常盤台キャンパスで学問を学び、世界中からの友と語りつつ、柔軟な発想と総合的・創造的な課題探求・解決能力を身につけ、社会の中核となってグローバルな共生社会に貢献したいと思う人を求めています。

【横浜国立大学学士課程の教育目標】

横浜国立大学の4つの精神—実践性・先進性・開放性・国際性—を踏まえて、本学は大学全体としての学士教育の更なる充実に向けた教育目標を定め、学内の各組織はそれぞれが担うべき学士課程の教育目標および育成人材像を明確にして、体系的な教育を実施します。

- (1) 学芸・諸科学に関する豊かな知的資産を学び、それらを活かす高度な実践的能力を備え、社会の中核となって活躍できる人材を育成する。
- (2) 研究成果に基づく教育を通して、豊かな知性・感性を養うとともに諸課題を解決に導く思考力や判断力を磨く。
- (3) 社会・文化・自然の多様性を尊重しつつ国や社会を超えて多様な人々と交流し、共生社会の実現を図る高いコミュニケーション能力を養う。
- (4) 高い倫理観を養いつつ積極的に課題を探求し、解決する強い意欲や責任感を高める。

※ 本学の詳細な教育目標・方針については、本学WEBサイトに掲載の『「学士力」を磨く YNU initiative』をご覧ください。

経営学部入学者受入方針・教育目標

経営学部では、社会の発展に貢献したい意欲的な学生を求めています。

企業は多面的な要素（ヒト、モノ、カネ、情報）と活動（研究開発、調達、生産、販売など）から構成され、複雑化しています。企業や組織の抱える問題に対する答えを出すのは容易ではありません。その答えを探す努力を惜しまない、次のような学生を求めています。

- 企業をはじめとする各種組織の経営に関する問題に興味のある人
- 興味を持ったら、その中の何かに対して疑問を持てる人
- 疑問を持ったら自ら解決に向かって行動できる人
- その過程で困難に出会っても積極的に立ち向かえる人

【高等学校で学んでほしいこと】

高等学校では、基礎となる数学、英語を始めとして基本科目をしっかりと学んでください。

【教育目標】

理論と実践の総合を追及する教育を実施することで、企業・組織が行う多様な計画・活動・運営・評価に関する問題発見と、その創造的解決ができる能力を養います。それを通じて今日の高度に複雑化した社会の中で、情報を的確に分析・判断し、環境にも配慮しつつ、国際的にも活躍できる人材を育成します。

・経営学科

国際化・情報化・環境問題のような21世紀の諸課題に対処するという観点から、新しい企業経営の方向性を探求することのできる、多角的な視野を持った人材を育成します。

・会計・情報学科

会計のスペシャリストの育成を目指し、会計情報の作成、それを利用した分析および会計情報が企業を中心とした他の組織体に与える影響を理解できる人材を育成します。

・経営システム科学科

数量的手法や情報技術を用いて、経営資源を有効に活用し、優れた経済成果を生むための「科学的な手法」を身につけ、合理的な問題解決能力を有する人材を育成します。

・国際経営学科

企業の国際的活動やその根底にある社会経済的的制度について十分な理解力とコミュニケーション能力を有する国際的に活躍できる人材を育成します。

私費外国人留学生募集要項

1. 募集人員

昼間主コース 若干名

2. 出願要件

日本国籍を有しない者で、次の基礎資格を有し、かつ、要件を満たすもの

【基礎資格】

次のいずれかに該当する者

1. 外国において学校教育における 12 年の課程を修了した者及び平成 24 年（2012 年）3 月 31 日までに修了見込みの者又はこれらに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
2. 文部科学大臣の指定した者（国際バカロレア資格、アビトゥア資格（ドイツ）、バカロレア資格（フランス）のいずれかを有する者で平成 24 年（2012 年）3 月 31 日までに 18 歳に達するもの）

（注）日本国籍を有しない者であっても、日本の高等学校若しくは中等教育学校又は日本国内に設置されたその他の教育施設を卒業（修了）又は平成 24 年（2012 年）3 月 31 日までに卒業（修了）見込みの者は、一般の入学志願者と同じ扱いになり、この選抜には該当しないので注意してください。ただし、基礎資格 2 に該当し、かつ要件を満たす者は出願できます。

【要件】

次の 1 及び 2 に該当する者

1. 出入国管理及び難民認定法において、大学入学に支障のない在留資格を有する者
2. （独）日本学生支援機構が平成 23 年（2011 年）6 月又は 11 月に実施する日本留学試験の①日本語、②総合科目又は理科（物理、化学、生物から 2 科目選択）、③数学コース 1 又は数学コース 2 を受験し、合計得点が 7 割以上あり、かつ平成 22 年（2010 年）1 月以降に実施された TOEFL、又は TOEIC を受験し、TOEFL の得点が 430 点以上（ペーパーテストの場合）、39 点以上（インターネットテストの場合）である者、又は TOEIC の得点が 382 点以上である者

（注 1） TOEFL-ITP（団体向けテスト）及び TOEIC-IP（団体特別受験制度）による得点は認めません。

（注 2） 日本留学試験の出題言語は日本語又は英語どちらでも可能です。

3. 出願期間

平成 24 年 1 月 23 日（月）から平成 24 年 2 月 1 日（水）まで（ただし、土曜日・日曜日を除く。）

4. 入学検定料払込期間

出願期間に間に合うように払い込んでください。

払込場所：郵便局・ゆうちょ銀行の受付窓口

注1. 入学検定料の払い込みは必ず、本冊子綴込みの「払込取扱票」を使用してください。

注2. 土曜日、日曜日ではできませんので注意してください。

注3. 払込済の「振替払込受付証明書（お客さま用）」は本学所定の貼付用紙に貼り付けて出願書類と一緒に持参してください。

5. 出願手続

(1) 出願書類

ア 入学願書・受験票 ・写真票	本学所定の用紙
イ 写真（2枚）	提出前3ヶ月以内に撮影した正面上半身脱帽、縦4cm×横3cmの同一写真とし、それぞれ受験票と写真票に貼付してください。
ウ 成績証明書、 卒業（修了）証明書等	① 高等学校（日本の高等学校に相当する課程をいう。以下「高等学校」という。）の <u>成績証明書</u> （高等学校課程の全ての成績が記されたもの）及び <u>卒業（修了）証明書</u> 又は <u>卒業（修了）見込証明書</u> で、出身学校長が作成したもの ② 出願要件の基礎資格2により出願する者は、国際バカロレア資格、アビトゥア資格、バカロレア資格のいずれかの取得証明書
エ 平成23年度日本留学 試験受験票（6月又は 11月実施分）	① 出願時には必ず原本を持参してください。 ② 受験票と成績通知書は、必ず同一試験日のものを持参してください。
オ 平成23年度日本留学 試験成績通知書（6月 又は11月実施分）	① 出願時には必ず原本を持参してください。 ② 受験票と成績通知書は、必ず同一試験日のものを持参してください。

<p>カ TOEFL又は TOEICの 成績証明書</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ TOEFLの場合 Educational Testing Service から直送される証明書「Official Score Report (公式スコア票)」の原本。 ※直送の際の横浜国立大学のコード番号は「0410」です。 なお、上記証明書の到着が遅延する場合がありますので、出願時に「Examinee Score Report」を必ず持参してください。 ・ TOEICの場合 各国のTOEIC運営委員会発行の証明書「Official Score Certificate (公式認定証)」の原本。 ※韓国TOEICのホームページでダウンロードし各自で印刷した成績表は受け付けません。
<p>キ 志 望 理 由 書</p>	<p>本学所定の用紙に自筆で記入してください。</p>
<p>ク 登録原票記載事項証明書又はパスポートの写し(パスポート原本持参)</p>	<p>現在日本国に在住している者は、市区町村の発行する「登録原票記載事項証明書」を提出してください。未登録の場合には、パスポートを持参してください。(受付の際にコピーを頂きます。)</p>
<p>ケ 入 学 検 定 料</p>	<p>17,000円</p> <p>(注1) 入学検定料の払込は必ず、本要項綴込みの「払込取扱票」を使用してください。</p> <p>(注2) 「払込取扱票」の※に入学志願者(本人)の住所・氏名・電話番号を黒又は青のボールペンで正確に記入してください。</p> <p>(注3) 「振替払込請求書兼受領書」及び「振替払込受付証明書(お客さま用)」を郵便局・ゆうちょ銀行受付窓口から受け取る際には必ず受付局日附印を確認してください。</p> <p>(注4) 入学検定料が払い込まれていない場合又は払込済の「振替払込受付証明書(お客さま用)」が所定の貼付用紙の欄に貼り付けていない場合は出願を受理しません。</p>
<p>コ 振替払込受付証明書 (お客さま用)貼付用紙</p>	<p>本学所定の用紙。入学検定料を払い込んだ際に郵便局・ゆうちょ銀行受付窓口から受け取る「振替払込受付証明書(お客さま用)」を貼付してください。</p>
<p>サ 返 信 用 封 筒</p>	<p>本学所定の封筒1通。本要項に綴込みの封筒に、住所・氏名等を記入し、所定の切手(360円)を貼付してください。</p>
<p>シ 住所氏名記入用紙</p>	<p>本学所定の用紙</p>

(注) 提出書類中、英語以外の外国語で書かれた証明書・文書・資料等には、その日本語訳を添付してください。

(2) 出願方法

出願書類等は、出願期間内に社会科学系学務第二係（経営学部担当）の窓口へ出願者本人が直接持参してください。

(3) 窓口受付時間

平日9時から17時まで。（昼休み時間 12時45分～13時45分を除きます）

(4) 出願書類の受付先

〒240-8501 横浜市保土ヶ谷区常盤台79番4号
横浜国立大学社会科学系学務第二係（経営学部担当）

6. 選抜方法

選抜は、小論文、面接、日本留学試験の成績、TOEFL 又は TOEIC の成績、志望理由書及び成績証明書の内容を総合して行います。

小論文・面接試験の日時・場所

試験科目	期 日	試験時間	場 所
小 論 文	平成24年3月13日（火）	9：30～11：30	経 営 学 部
面 接	平成24年3月13日（火）	13：00～	

7. 合格者の発表及び通知

平成24年3月21日（水）13時ごろに、本学ホームページに合格者受験番号を掲載するとともに、合格者には、「合格通知書」を住所氏名記入用紙に記載した連絡先に郵送します。

（ホームページアドレス <http://www.ynu.ac.jp/exam/faculty/pass/index.html>）

- 注1. 合格者受験番号の掲示発表は行いません。
- 注2. 携帯電話には対応していません。
- 注3. 電話による合否照会には応じません。
- 注4. 掲載期間は概ね4日間程度です。

8. 入学手続

私費外国人留学生入試の合格通知を受けた者は、入学手続を所定の期間内に完了してください。

(1) 入学手続締切日

平成24年3月27日（火）まで。（土曜日・日曜日・祭日を除きます）

(2) 入学手続方法

- ア 入学手続に必要な書類及び「入学手続について」を送付します。
- イ 入学手続は、すべて窓口扱いにより行います。入学手続をする際は、「入学手続について」を参照の上、入学手続期間内に必ず社会科学系学務第二係（経営学部担当）窓口へ合格者本人が直接持参してください。

(3) 窓口受付時間

9時～17時まで。（昼休み時間 12時45分～13時45分までを除きます）

(4) 入学手続の受付先

〒240-8501 横浜市保土ヶ谷区常盤台 79 番 4 号
横浜国立大学社会科学系学務第二係（経営学部担当）

(5) 入学手続に必要な経費

入 学 料 282,000円〔現行〕

注1. 入学料は、改定される場合があります。

注2. 詳細は入学手続書類と一緒に送付します。

(6) 入学手続の注意事項

ア 私費外国人留学生入試合格者が、入学手続期間最終日までに「入学手続」を完了しない場合は、私費外国人留学生入試合格者としての資格を失います。

イ 入学手続完了者が事情により入学辞退した場合、いかなる理由があっても入学料は返還できません。

(7) 授業料

前 期 分 267,900円〔現行〕

(年額 535,800円)〔現行〕

注1. 授業料は、改定される場合があります。

注2. 在学中に授業料の改定が行われた場合には、改定時から新しい授業料が適用されます。

9. 障害等のある入学志願者の事前相談について

下表に該当する者（出願受付締切後の不慮の事故による負傷者等を含む）は、受験及び修学上特別な措置を必要とすることが起こり得ますので、出願する前に必ず社会科学系学務第二係（経営学部担当）へ下記の様式により事前に相談してください。

なお、下表から判断できない場合については、お尋ねください。

区 分	障 害 の 程 度
視覚障害	・ 両眼の視力がおおむね0.3未満のもの又は視力以外の視機能障害が高度のもののうち、拡大鏡等の使用によっても通常の文字、図形等の視覚による認識が不可能又は著しく困難な程度のもの
聴覚障害	・ 両耳の聴力レベルがおおむね 60 デシベル以上のものうち、補聴器等の使用によっても通常の話声を解することが不可能又は著しく困難な程度のもの
肢体不自由	一 肢体不自由の状態が補装具の使用によっても歩行、筆記等日常生活における基本的な動作が不可能又は困難な程度のもの 二 肢体不自由の状態が前号に掲げる程度に達しないものうち、常時の医学的観察指導を必要とする程度のもの
病 弱	一 慢性の呼吸器疾患、腎臓疾患及び神経疾患、悪性新生物その他の疾患の状態が継続して医療又は生活規制を必要とする程度のもの 二 身体虚弱の状態が継続して生活規制を必要とする程度のもの

(様式) A 4 判縦

平成 年 月 日

横浜国立大学長 殿

ふりがな
氏 名
生年月日
住 所 〒
電話番号

横浜国立大学に入学を志願したいので、下記のとおり事前に相談します。

記

1. 志望する学部・学科・課程・コース
2. 身体の障害の種類、程度
3. 受験に際して希望する受験特別措置
4. 入学後の修学に際して希望する特別措置
5. そ の 他
(添付書類) 診断書または身体障害者手帳 (写)、その他参考資料

10. 私費外国人留学生入試出願者への注意事項

- (1) 「在留資格『留学』」を取得するに当たっては、留学生生活を維持できる経済的基盤を有している必要があります。
- (2) 出願書類に虚偽の記載をした者については、入学許可の後でもこれを取り消します。
- (3) 出願書類について、不備がある場合は、受理しません。
- (4) 出願後の書類は、一切返還しません。
- (5) 出願後に現住所・連絡先等を変更した場合は、必ず社会科学系学務第二係（経営学部担当）へ連絡してください。
- (6) 私費外国人留学生入試の可否に関する電話での問い合わせには一切応じません。
- (7) 出願者に対する宿泊施設等の斡旋については、別冊「横浜国立大学受験ホテル宿泊のご案内」を参照してください。
- (8) 払込済の入学検定料は、次の場合を除き、いかなる理由があっても返還いたしません。
 - ア 検定料の返還請求ができるもの
 - (ア) 検定料を払い込んだが私費外国人留学生入試に出願しなかった（出願書類等を提出しなかった、又は出願が受理されなかった）場合
 - (イ) 検定料を誤って二重に払い込んだ場合

イ 返還請求の方法

①返還請求の理由、②氏名（ふりがな）、③現住所、④連絡先電話番号を明記した「検定料返還請求願（様式は問わない）」を作成し、必ず「振替払込受付証明書（お客さま用）」を添付して、社会科学系学務第二係（経営学部担当）へ速やかに郵送してください。

送付先 〒240-8501 横浜市保土ヶ谷区常盤台 79 番 4 号
横浜国立大学社会科学系学務第二係（経営学部担当）

11. 個人情報の取り扱いについて

志願者の入学試験成績及び出願書類等に記載された個人情報については、本学入学者選抜に係る用途の他、入学後のクラス編成及び本人の申請に伴う入学料免除等の福利厚生関係の資料、本学における諸調査及び研究の資料としても利用することがあります。

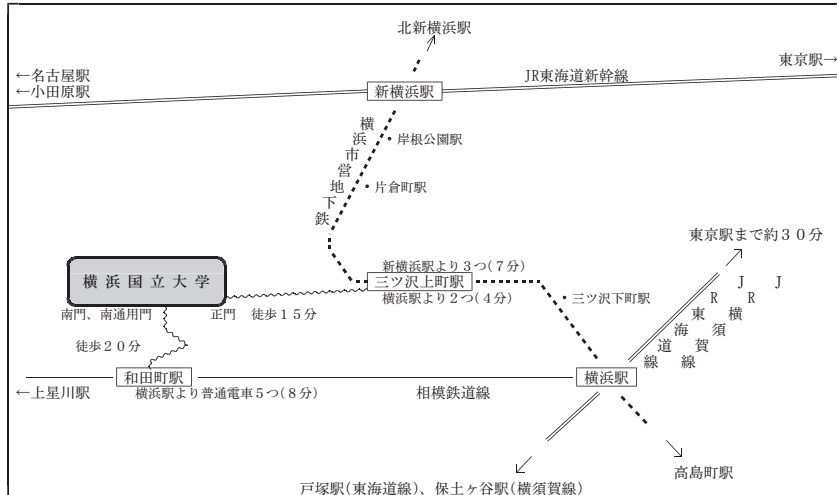
調査・研究結果を発表する場合は個人が特定できないように処理します。それ以外の目的に個人情報が利用または提供されることはありません。

注意!!

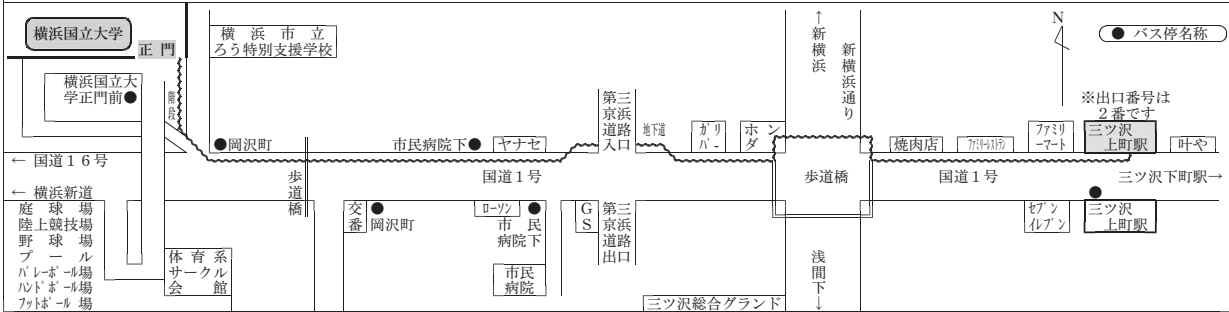
試験日や下見時に、本学周辺（特に岡沢町バス停から正門までの間にある通路・階段など）や最寄駅（和田町、三ツ沢上町、横浜）で、本学職員を装って受験生を誘導・整理し、受験番号・住所・氏名・電話番号を記入させて後に「現金」を請求する者がいますが、これらの者と本学とは一切関係がありませんので、十分に注意してください。

交通案内

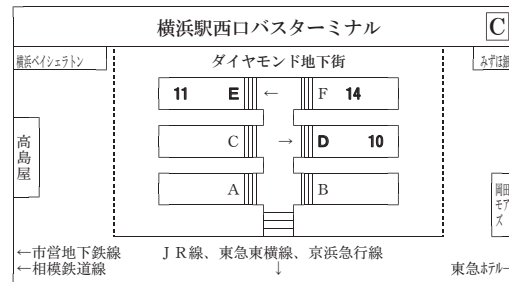
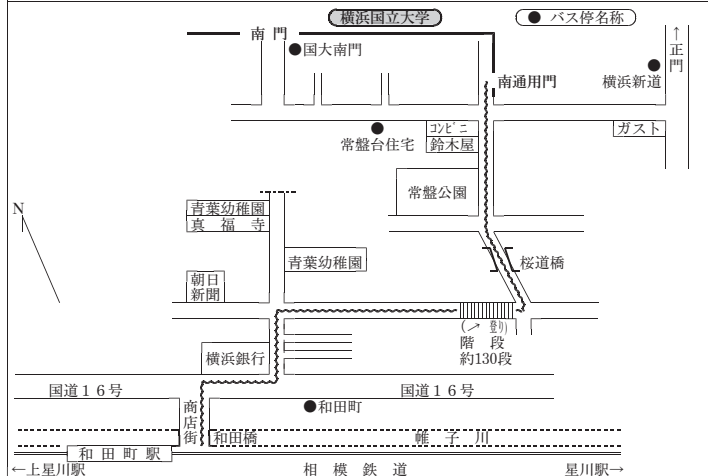
(バスは、道路混雑等で予定どおり運行できないこともあり、試験当日は①または②による徒歩を奨励します。)



① 【正門へ】 横浜市営地下鉄「三ツ沢上町」駅より徒歩15分〔改札を出て右側2番出口〕



② 【南門、南通用門へ】 相模鉄道「和田町」駅より徒歩20分



横浜駅からのバス案内 横浜駅西口バスターミナルから、バスで15分～25分ほどかかります。

平日は、大学構内を通行する路線バスが運行されます。(土曜日は運行されません。)

- ・市営バス 「201系統 循環内回り 国大経由 横浜駅西口」行 (F階段14番)
- ・相鉄バス 「浜10 横浜国大経由 横浜駅西口」行 (D階段10番)
- ・市営バス 「329系統 急行 松本経由 横浜駅西口」行 (F階段14番)

以下の路線バスでは、バス停「岡沢町」で下車してください。

- ・市営バス 「202系統 循環外回り 和田町経由 横浜駅西口」行 (E階段11番)
- ・相鉄バス 「浜5 交通裁判所経由 横浜駅西口」行 (D階段10番)
- ・神奈中バス 「01系統 松本・梅の木経由 中山駅」行 (F階段14番)
- ・市営バス 「201系統 循環内回り 松本経由 横浜駅西口」行 (F階段14番) ※土曜日のみ運行

※1 各バスの時刻表や経路等は、横浜市交通局、相鉄バスまたは神奈中バスのホームページ等により各自で確認してください。(このバス案内では、運行本数が少ない路線も掲載しています。)

※2 バスは、道路混雑等で予定どおり運行できないこともありますので、試験当日は①または②による徒歩を奨励します。

横 浜 国 立 大 学 経 営 学 部

〒240-8501 横浜市保土ヶ谷区常盤台 79 番 4 号

TEL (045) 339-3664 (平日 9:00~12:45、13:45~17:00)

(社会科学系学務第二係「経営学部担当」直通)